

株式会社 西京銀行

2020年3月期 第2四半期 決算報告



2020年3月期 第2四半期 業績ハイライト（単体） ……P. 2

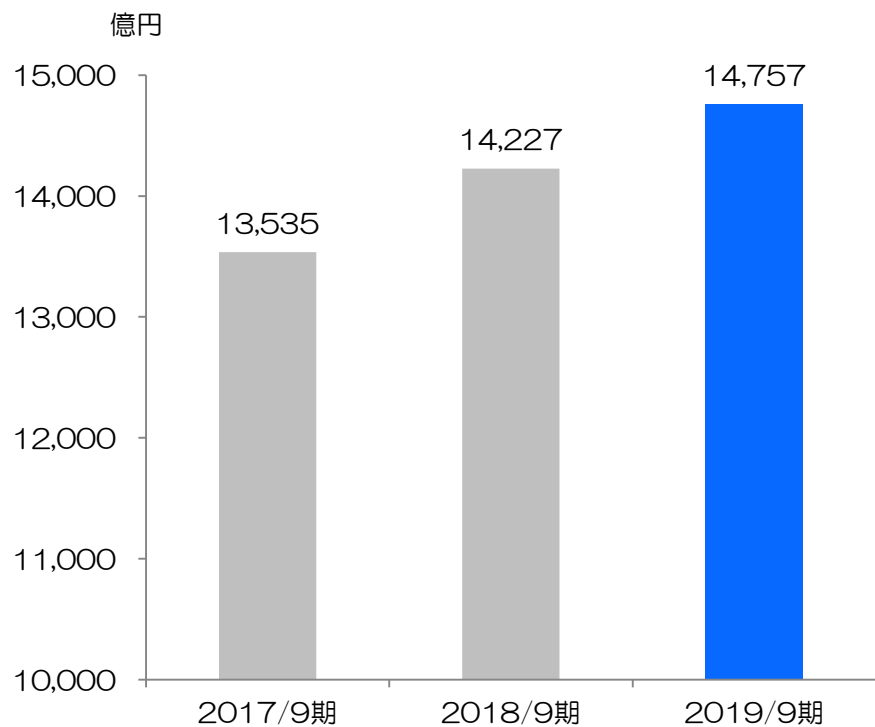
地方創生に向けた取組み状況 ……………P. 10
（金融仲介機能のベンチマークについて）

2020年3月期 第2四半期 業績ハイライト（単体）

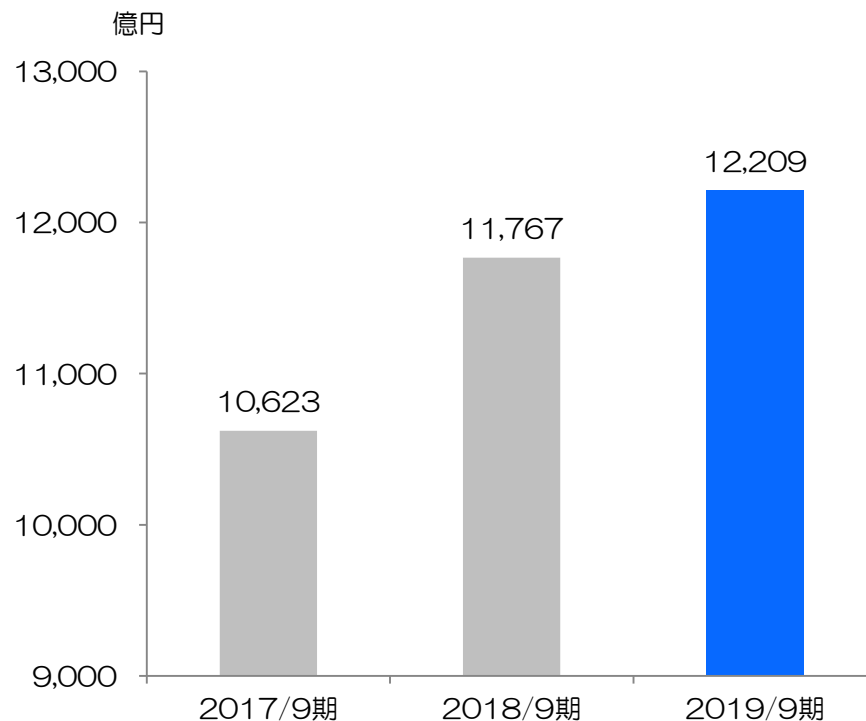
- 貸出金残高対前年同期比**441億円増加** 預金残高対前年同期比**530億円増加**
- 預金の地元割合は**99.0%**、貸出金の地元割合は**74.6%**

- 預金残高は、山口県・広島県・福岡県を中心に対前年同期比530億円増加
- 貸出金残高は、事業性貸出や個人ローンを中心に対前年同期比441億円増加

預金残高推移



貸出金残高推移

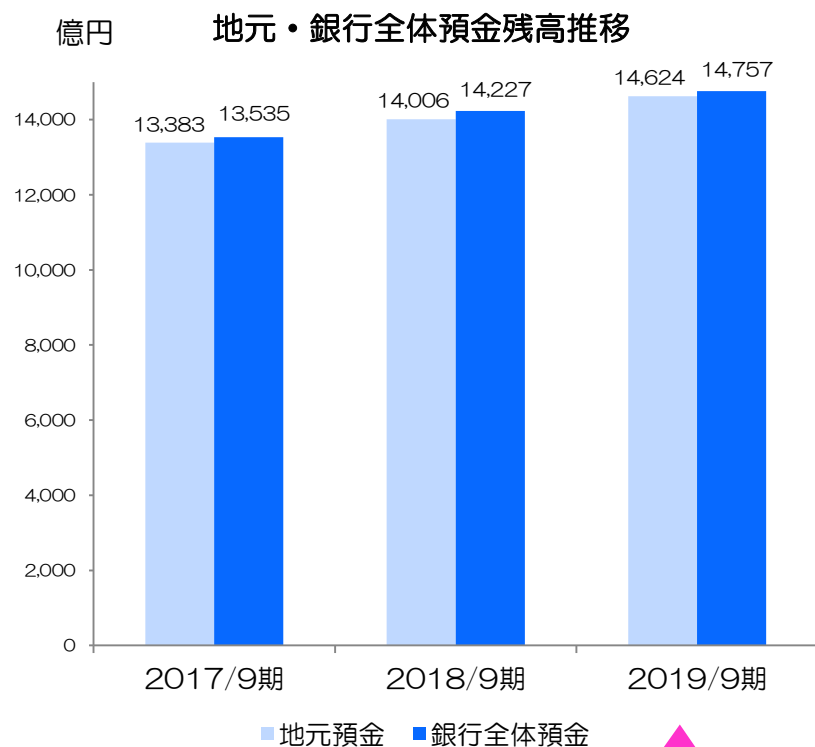


- 事業性貸出や個人ローンの増加などにより貸出金利息は増加したが、預かり資産手数料の減少や貸倒引当金の予防的な積み増しにより、前年同期比、全体的に減少

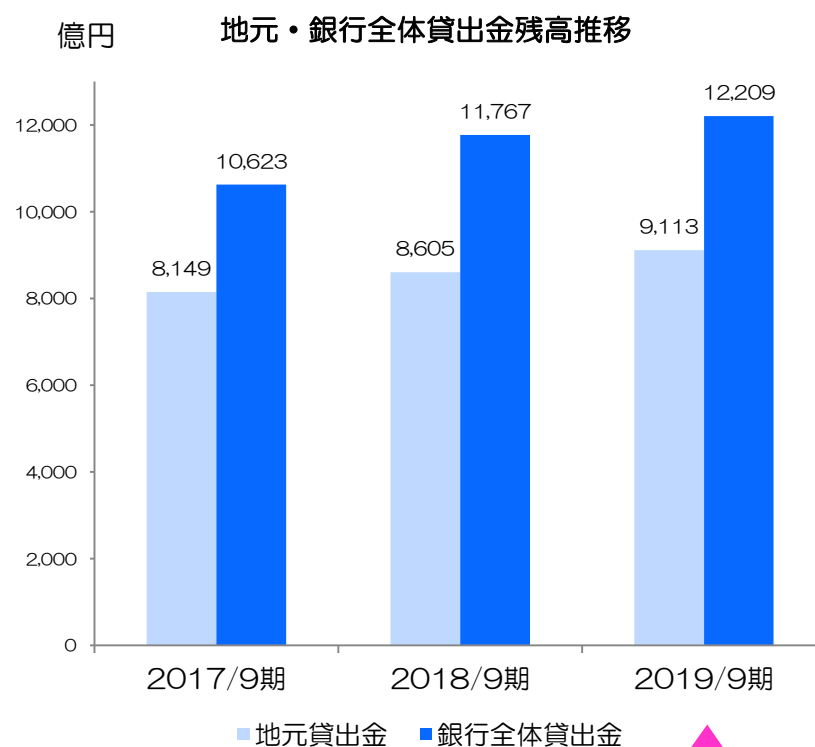
(単位:百万円)

	2017/9期	2018/9期	2019/9期	前年同期比
経常収益	14,481	13,891	13,487	▲404
業務純益	2,859	3,390	2,629	▲761
中間純利益	2,566	2,684	1,223	▲1,461

- 地域の皆さまからお預かりした大切な預金を、資金を必要とされている地域の事業者さまや個人のお客さまに、借入金としてお使い頂く『資金の地域内循環』を推進

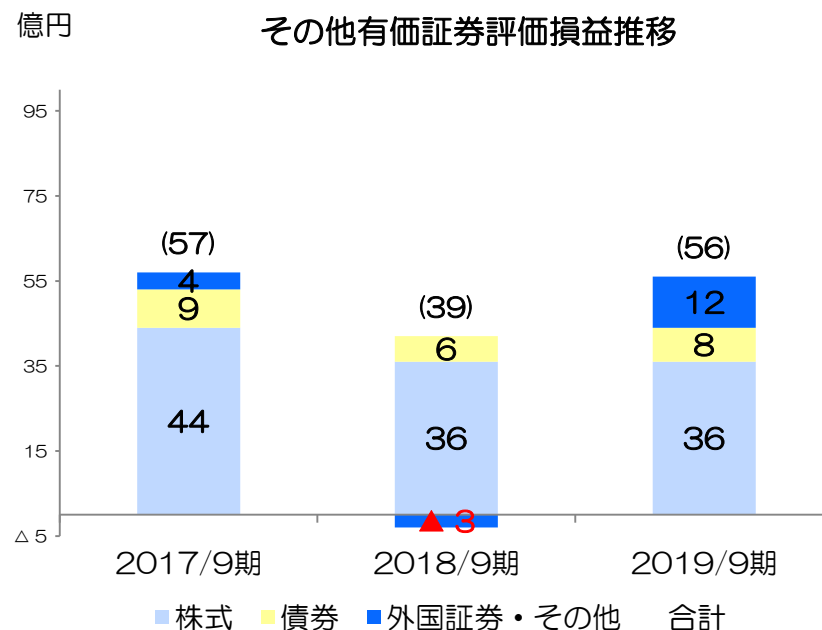
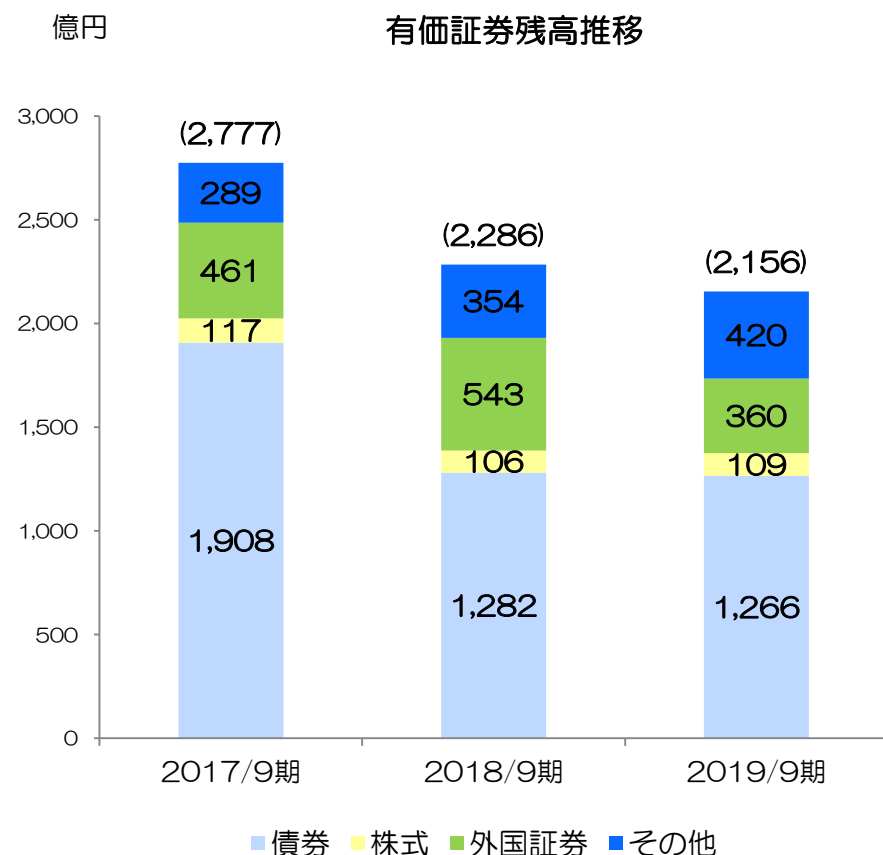


地元割合
99.0%



地元割合
74.6%

- 有価証券残高は債券を中心に安全性を重視する一方、修正デュレーションは金利リスクに備え短期化に努めており、4年を下回る水準を維持
- 米国の利下げ効果により外国証券の評価益が増加し、その他有価証券評価損益は引き続き経常利益1年分を維持



修正デュレーション推移（国内債券）

2017/9期	2018/9期	2019/9期
3.66年	3.94年	3.91年

- 開示債権比率および部分直接償却前開示債権比率は、引き続き低水準を維持
- 開示債権比率は、全国銀行トップクラスの高い健全性を保つ水準

金融再生法基準での開示債権比率

2017/9期 1.40% ➡ 2018/9期 1.14% ➡ 2019/9期 1.28%

部分直接償却前開示債権比率

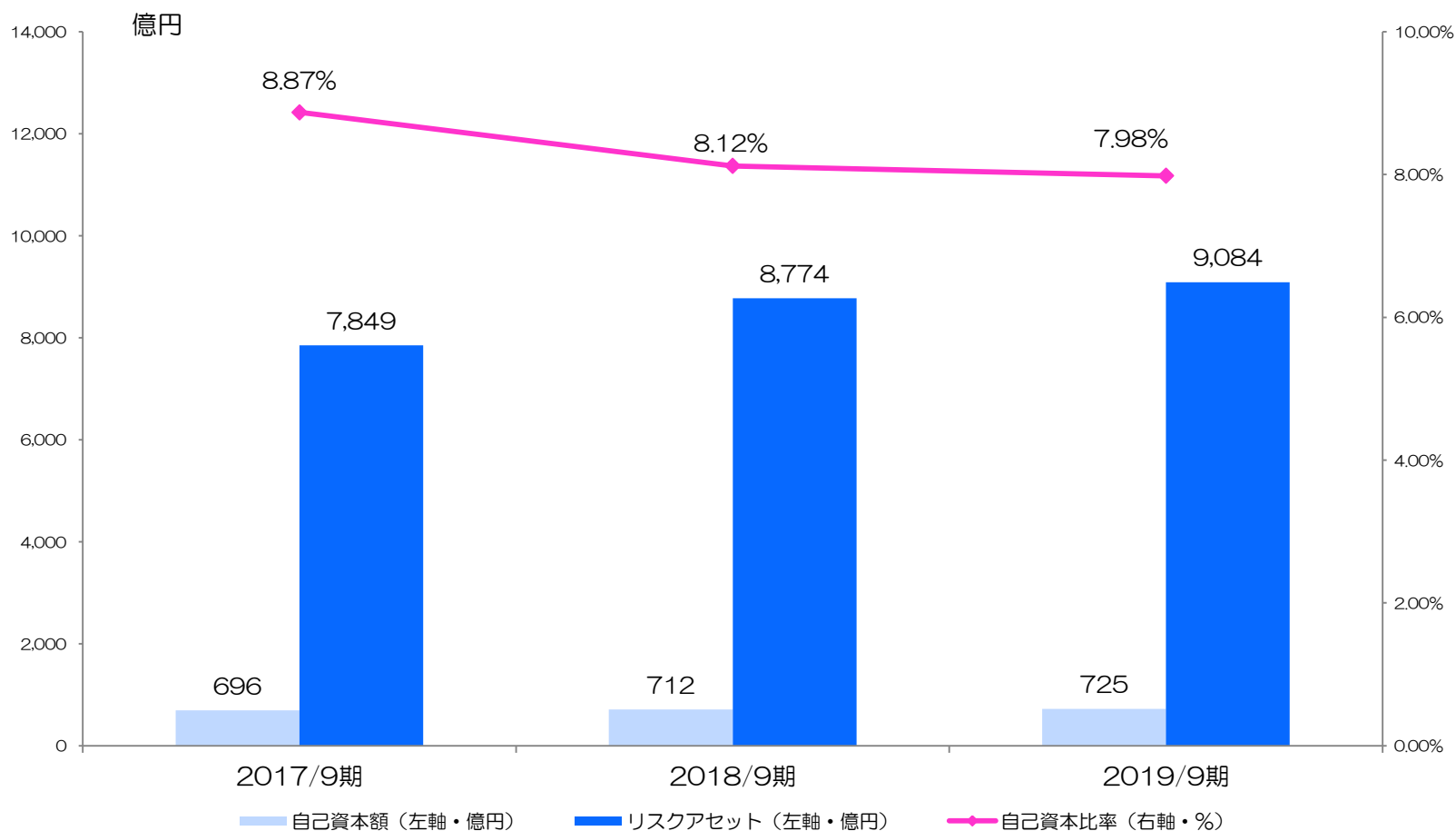
2017/9期 1.69% ➡ 2018/9期 1.43% ➡ 2019/9期 1.59%

開示債権額

2017/9期 149億円 ➡ 2018/9期 135億円 ➡ 2019/9期 157億円

- 地元を中心とした貸出金の増加に伴い、自己資本比率は前年同期比0.14ポイント減少したが、国内基準（規制値4%）を上回る

自己資本額・リスクアセット・自己資本比率推移



地方創生に向けた取組み

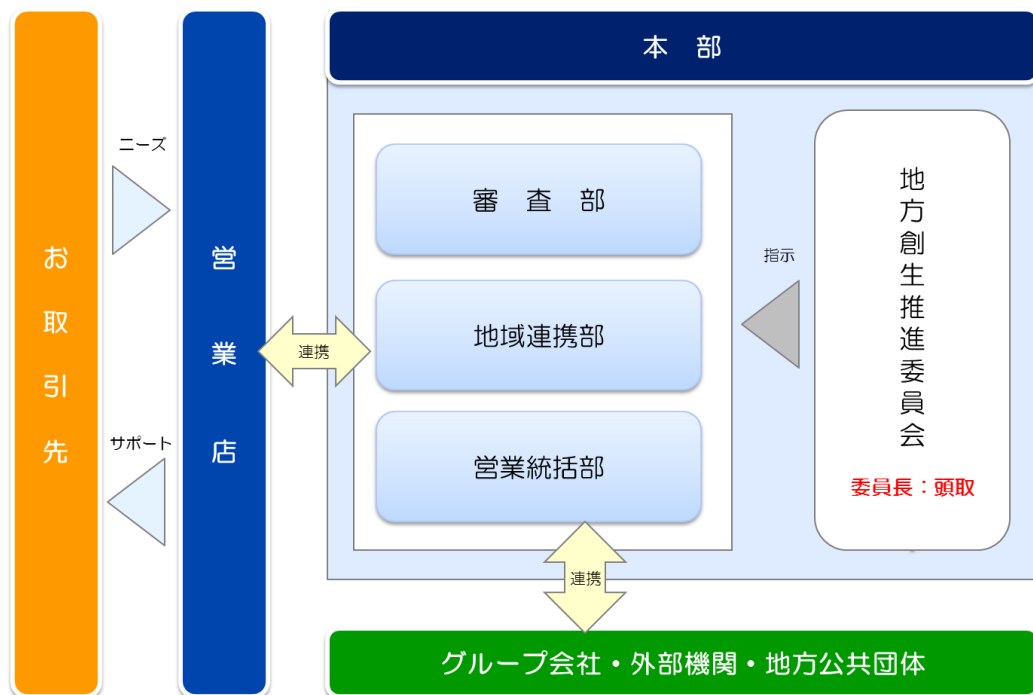
(金融仲介機能のベンチマークについて)

- ◆ 金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」のうち、当行が積極的に推進を図っていく取組みを開示しており、該当のものには、 と表示しております。

お客さまの経営サポートに関する取組み

- 地域経済の健全な発展に貢献するため「地方創生推進委員会」を中心とした推進体制を整備
- 取引先数は前年同期比微減したものの、お客さま一人ひとりに適したサービスの提案等、コンサルティング機能の強化を重視

～地方創生推進体制～



ベンチ
マーク

●全取引先数と地域の取引数の推移

▶全取引先数

2018.9月末	2019.9月末	前年同期比
18,736先	17,951先	-4.18%

▶地域（山口県）の取引先数

2017.9月末	2019.9月末	前年同期比
12,207先	11,435先	-6.32%

専門サポート室、増員+強化！

●事業承継サポート室

—M&Aによる課題解決に向けたサポート

- ・後継者問題の解決
- ・業界再編に備えた経営基盤の強化
- ・事業領域の拡大 など

—専門家や外部機関との連携による質の高いコンサルティングサービス

—増員により、「情報収集とサポート範囲の拡大」を実現

山口県は
全国ワースト第2位！

全国後継者不在率（2018年度）

順位	都道府県	不在率
1	沖縄県	83.5%
2	山口県	75.0%
3	神奈川県	73.8%
4	北海道	73.5%
5	広島県	73.2%

出典：帝国データバンク山口支店
「2018年山口県後継者問題に関する企業の実態調査」

●メディカルサポート室

—医療・介護事業者さまが抱える経営課題に対し
専門スタッフが幅広くサポート

—完全オーダーメイドのご融資対応

—各種セミナー・勉強会を開催し、2018年度は
3セミナーで累計136名が参加

—増員により、「既存取引先との関係強化」を実現



ベンチ
マーク

●担保・保証に依存しない融資の対応状況

(2019年9月末)

▶ 地元中小企業と信先のうち、無担保融資の割合

無担保融資先数	無担保融資残高
78.0%	43.3%

▶ 地元中小企業と信先のうち、 根抵当権を設定していないと信先の割合

根抵当権未設定割合
79.8%

▶ 中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付き 融資額の割合、100%保証付き融資額の割合

信用保証協会保証の 融資残高	100%保証付き 融資残高
11.4%	10.3%

ベンチ
マーク

●経営者保証に関するガイドラインの対応状況

経営者ガイドラインとは

中小企業経営者等の個人保証における合理的な保証契約の在り方を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うための準則を定めたものです。

(2019年4月～9月)

	実績
新規融資に占める経営者保証に 依存しない融資の割合	88.23%
- 新規で融資した件数	2,737件
- 新規に無保証で融資した件数	2,415件
既存保証契約を解除・変更（減額）した 件数	24件
保証債務整理の成立件数	0件

* 信用保証協会等保証付き融資を除く

人材サポート

◆第7回『若旅inやまぐち2019』

- ー地元企業の新卒採用支援
- ー企業訪問と観光を組み合わせたツアー
- ー累計参加者：212名（うち訪問企業就職者20名）



◆第10回『DISCOVER YAMAGUCHI』

- ー山口県の外国人留学生と地元企業のマッチング
- ー累計参加数：企業97社、留学生408名（うち県内就職者7名）



◆高度外国人材の就職サポート

- ー台湾の国立高雄科技大学と連携
- ー第6回「若旅inやまぐち」に参加した台湾留学生が県内就職を実現
- ー当行でも9月2日から半年間、インターンシップ生を受入れ



地域スポーツ

◆ベトナム女子バドミントン選手との交流イベント

- ーACT SAIKYOと下松市が連携
- ーACT SAIKYO選手とともにチーム練習・下松市内の中学校バドミントン部を訪問
- ー交流イベントを通じて、山口県内のバドミントン普及に貢献



グェントゥイリン選手（前列中央）とACT選手

◆バドミントン教室

- ーバドミントンを通して、山口県各地で地域活性化イベントを開催
- ーACT SAIKYO選手・OGが実施
- ー累計開催数：108回
- ー累計参加人数：約6,000名



2020年夏

『日の出支店』 新築移転オープン予定！



- フリードリンクコーナーを楽しむことができる、ゆったりとしたロビー

- 車が停めやすい広い駐車場を完備

駐車場スペース

9台 → **30台**へ拡大

ゆとりを持って、気軽に金融相談していただける
店舗づくりを進めてまいります。